

2. 事業の概要と成果

(1) 上位目標	【アスンシオン市バニャード・スール地区における住民の健康状態改善】 当該地域において、家庭保健ユニット及び保健推進員の強化と地域プロモーターの育成により、地域保健サービスの利用促進と、住民の健康状態の改善を目指す。
(2) 事業内容	ボランティア医療チームの協力のもと、2日間にわたり家庭保健ユニットと協働で「住民保健推進デー」と称するイベントを開催し、住民に対して家庭保健ユニットの利用に関するオリエンテーションを行なった。イベント当日は、医師による診察のほか、治療や栄養に関するレクチャー、心理カウンセリングなどの医療サービスを提供しつつ、アンケートを実施して住民の視点から見た保健分野での課題を再確認した。また、厚生省の結核、予防接種、性感染症予防プログラムの担当者及びリソースと協働することで、包括的な保健サービスの提供と啓発活動を実施することができた。2日間で合計174人の住民が会場を訪れた。 (イ) 既存の地域保健サービスの改善 4月に行なわれた大統領選挙に伴い、パラグアイ厚生省との調整及び合意の締結が遅れたため、5月より以下a、bの活動を開始した。 a. 家庭保健ユニット医療従事者の強化研修 対象地域の4つの家庭保健ユニット医療従事者を対象に合同研修を全4回（予定）の内、2回実施した。しかし、家庭保健ユニットは人員が不足しており、全医療従事者20名が同時に研修へ参加することが難しかったため、いずれの研修も参加率が約50%と低かった。このため研修以外の方法で家庭保健ユニットの機能を強化する代替案として、合同で研修を実施するのではなく、ユニットごとに課題を見直し、それぞれのユニットの課題に応じた活動を検討している。 b. 家庭保健ユニット保健推進員の能力強化研修 対象地域の4つの家庭保健ユニット保健推進員を対象に研修を全16回（予定）の内、7回実施し、当該地域の地域保健において特に顕著な問題である薬物、栄養、衛生の講義とグループワークを行なった。これまで全保健推進員31名の内28名が研修に参加している。悪天候により半数以上の参加者が会場へ来られない回が一度あったが、それ以外は毎回90%以上の参加率であった。研修は地域住民により明確に知識を伝えるため、庶民教育の手法であるポピュラー・エデュケーション及びサイコドラマの手法を用いた。 c. 行政関係者、コミュニティ・リーダーに対するワークショップ 当初はアスンシオン市の行政関係者を招いてのワークショップを予定していた。しかし、ルゴ前政権の公約が果たされていないことに不満を募らせた事業対象地域の住民と中央政府の間で亀裂が深まっていること、及び今年8月の政権交代を前にした政権移行期であることから、当面は行政関係者との接触を控えている。引き続き情報収集を行ないつつ、今後の活動に関して検討する。 (ロ) 地域プロモーターを中心とする保健システムの構築 a. 地域プロモーターの育成

	地域で活動する住民グループや任意団体を訪問して会合を行ない、地域プロモーターの候補者を15名選出した。家庭保健ユニット保健推進員への研修と同様に、地域保健に関する研修を行なう予定である。地域プロモーター育成研修は7月中旬より11月下旬まで週1回実施予定である。 b. 地域プロモーターへの活動支援 地域プロモーターの選出後、地域の特性や実施可能性、継続性などの観点から、活動内容について検討を重ねている。その中で、一定数の住民を会場に招いて行なう講義形式のセミナーに比べ、路上での啓発活動の方がより多くの住民に地域保健について周知することができるという意見があがり、そうした活動を中心にすることを決定した。路上での啓発活動を通じ、本事業の終了後に地域プロモーターが継続する活動への協力者の増加が望まれる。また、地域プロモーターが自ら創造的に啓発プログラムを組むことで彼ら自身の学習につながるだけでなく、住民の視点により近い効果的な啓発活動が可能になると期待している。今後も関係者との協議を続け、具体的な活動内容を検討していく。
(3) 達成された効果	(イ) 既存の地域保健サービスの改善 成果1：対象地域の4つの家庭保健ユニットの医療従事者を対象に6月までに2回の研修を実施した。各回約10人の医療従事者が出席した。研修に出席した医師は、「複雑な社会問題が絡み合う当該地域では、地域の社会的背景を考慮した地域保健への医療知識の応用が重要であるが、本件研修ではその点を学ぶことが出来ている」と話しているおり同研修を受講したことにより徐々に地域保健の知識が向上するとともに、より多くの住民の参加を促す地域の保健活動を保健推進員と共に牽引していこうとする動きが見られるようになっている。なお、全研修終了時に事後テストを実施し、研修の成果（同医療従事者の研修で得た栄養、衛生、薬物問題を中心とする地域保健に関する知識の定着・向上）を測る予定である。 成果2：対象地域の4つの家庭保健ユニットの保健推進員を対象に5月8日から6月26日までに7回の研修を実施した。事業対象地の4つのユニットから各回約28人の保健推進員が出席した。研修に出席した保健推進員は、「研修前には知らなかった栄養、衛生、薬物の知識が身についただけでなく、これらの知識を日々の業務にどのように生かしていくかを学んでいる」と話しており、同研修を受講したことにより徐々に地域保健の知識が向上するとともに、地域の清掃運動や妊婦の栄養改善のための講演を実施する等、地域で特に顕著な保健の課題に対して活動計画を作成・実施する動きが見られるようになっている。なお、全研修終了時に事後テストを実施し、研修の成果（同健康推進員の研修で得た栄養、衛生、薬物問題を中心とする地域保健に関する知識の定着・向上）を測る予定である。 成果3：特になし (ロ) 地域プロモーターを中心とする保健システムの構築 成果1、2、3、4：特になし
(4) 今後の見通し	事業内容 (イ) 既存の地域保健サービスの改善 前述の通り、研修受講者の負担を減らすため、7月以降は4つの家庭保健ユニットの医療従事者を集めて行なう研修から、家庭保健ユニットごとに研修を実施するスタイルに変更することを検討している。今後、各家庭保健ユ

ニットと調整し、それぞれの課題に合った活動を検討して実施する。

保健推進員への研修については、7月末までに全研修が終了する予定である。研修終了後はモニタリングを継続する。

行政関係者、コミュニティ・リーダーに対するワークショップに関しては、次期カルテス政権が発足する8月15日までは活動を控え、今後の活動については検討を続ける。アスンシオン市の行政関係者との接触が難しい場合には、コミュニティ・リーダーのみを対象としたワークショップを中心に行なっていく。

事業内容（ロ）地域プロモーターを中心とする保健システムの構築

上述の通り、地域プロモーターに対する研修を7月中旬より11月下旬まで実施する予定である。地域プロモーターの育成プログラムと、地域プロモーターによる住民対象の啓発活動を並行して行なうことにより活動期間を短くし、事業期間内に活動を終わらせるよう努める。